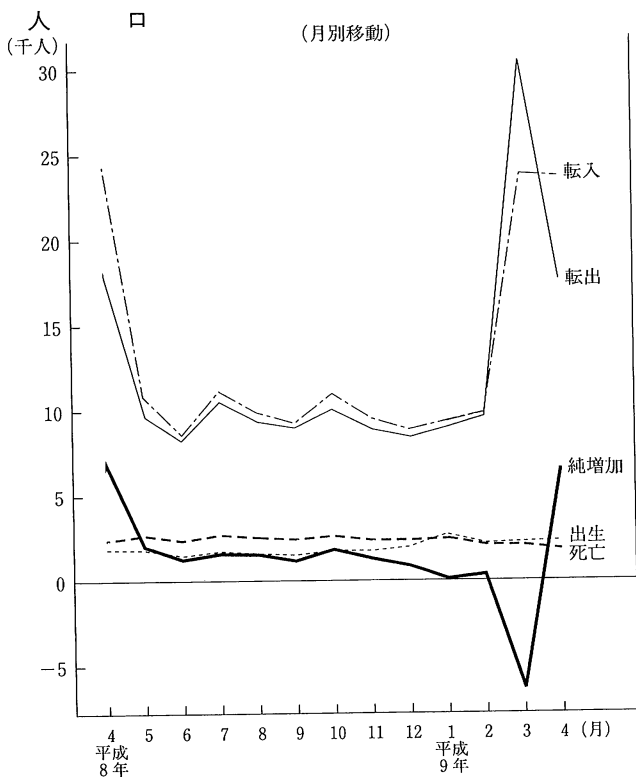
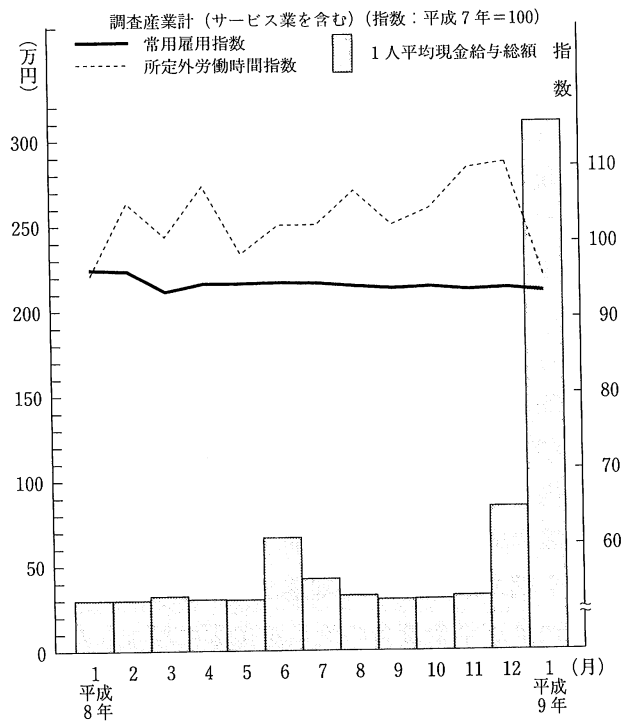


●今月の主な動き

# 今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■人口 (9年5月1日)

本県の人口は、4月中に6,564人増加し、5月1日現在で、2,973,458人(男1,485,352人,女1,488,106人)となった。

内訳は、自然動態で、489人(出生2,295人,死亡1,806人)増加し、社会動態で、6,075人(転入23,710人,転出17,635人)増加した。前年同月と比べると12,163人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が16市36町村、減少が4市28町村、増減なしが1町である。

世帯数についても4月中に7,499世帯増加し、949,443世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (9年1月)

1. 平均賃金の推移

1月の現金給与総額は、調査産業計で310,438円、対前年同月比3.2%増、このうち、きまって支給する給与は297,157円、対前年同月比0.7%増であった。また、このうち、所定内給与は271,674円、対前年同月比0.4%増であり、超過労働給与は25,483円、対前年同月比2.8%減であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比7.8%増であった。

2. 労働時間

1月の総実労働時間は、調査産業計で142.9時間、対前年同月比8.4%減であった。このうち、所定内労働時間は130.2時間、対前年同月比9.3%減、所定外労働時間は、14.9時間、対前年同月比5.7%減であった。

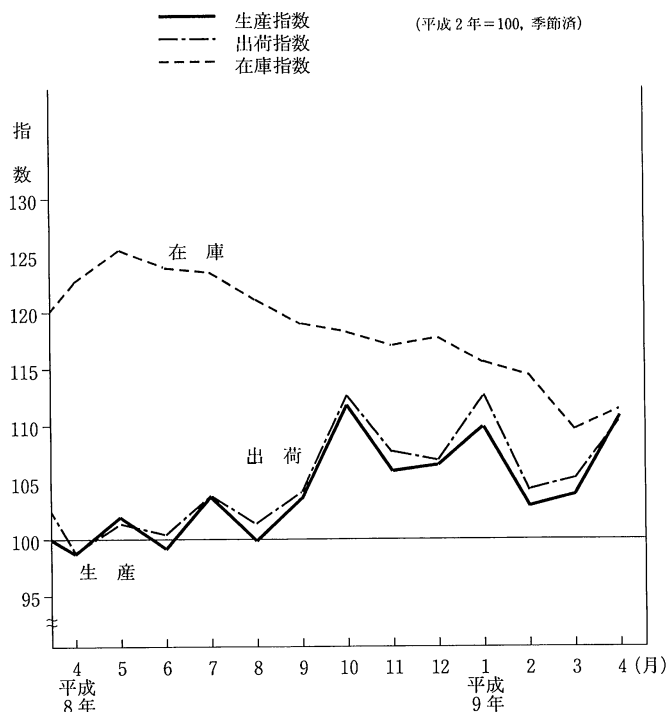
3. 雇用の動き

1月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比3.1%減であった。

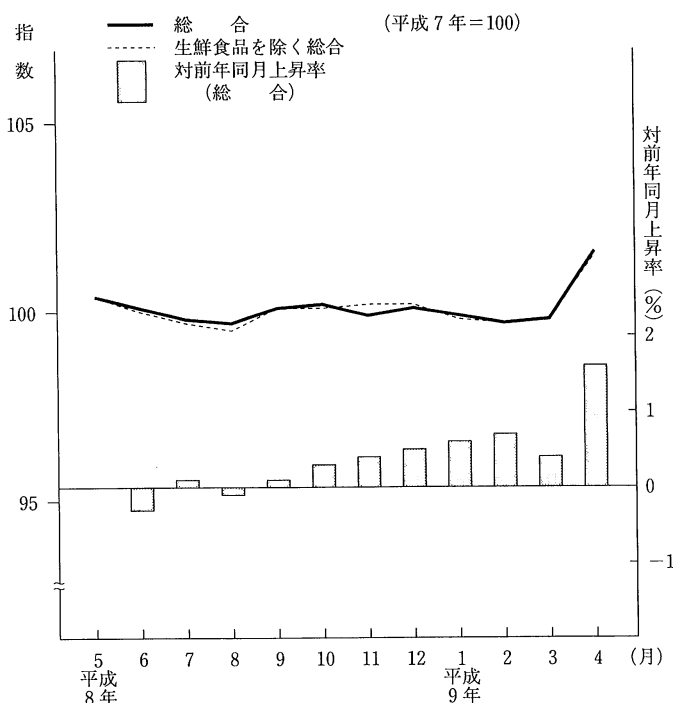
※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫>（9年4月）

本県における平成9年4月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が108.2、出荷が103.2、在庫が114.1で、前月比は、生産が3.2%の上昇、出荷が2.5%の低下、在庫が4.2%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が8.9%の上昇、出荷が4.3%の上昇、在庫が6.6%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、一般機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、精密機械工業、輸送機械工業、パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。出荷では、石油・石炭製品工業、非鉄金属工業、化学工業等が上昇し、精密機械工業、金属製品工業、鉄鋼業等が低下した。在庫では、電気機械工業、鉱業、食料品・たばこ工業等が上昇し、精密機械工業、非鉄金属工業、輸送機械工業等が低下した。財別にみると、生産では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、耐久消費財が低下した。出荷では、鉱工業用生産財が上昇し、耐久消費財、建設財等が低下した。在庫では、耐久消費財、その他用生産財等すべての財で上昇した。

■ 消費者物価指数（9年4月）

平成9年4月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で101.6(平成7年=100)となり、前月比1.8%の上昇、前年同月比1.6%の上昇となった。

今月の上がった主な項目……シャツ・セーター・下着7.4%、

野菜・海藻5.8%、衣料5.1%

今月の下がった主な項目……果物1.1%

生鮮食品を除く総合は101.5となり、前月比1.7%の上昇、前年同月比1.6%の上昇であった。

■ 費用別指数

(平成7年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	101.6	1.8	1.6	保健医療	102.4	0.8	0.7
食 料	102.2	2.5	2.4	交通通信	99.8	1.3	0.6
住 居	102.2	0.3	0.7	教 育	106.3	2.9	2.9
光熱・水道	102.7	1.5	4.2	教養娯楽	98.4	2.2	0.6
家具・家事用品	97.3	1.0	△1.0	諸 雑 費	100.8	2.0	0.3
被服及び履物	105.3	5.0	4.2	生鮮食品を除く総合	101.5	1.7	1.6